

「オリンピックより命優先」の声はっきり 東京都議選 共産党 19議席に前進！ 野党共闘を強め 次の総選挙で 野党連合政権を！

7月4日投開票の東京都議会選挙。新型コロナの感染拡大が進むなか、共産党は「五輪よりも命優先」「五輪は中止し、コロナ終息にあらゆる力の集中を」「迅速で安全なワクチン接種、大規模なPCR検査、十分な補償と生活支援、医療機関への減収補填」「ケアに手厚い都政」などを訴え闘いました。選挙後、小池晃書記局長は次のように述べました。

『現有議席を確保し、新たな議席増に挑戦する』という目標を達成でき、勝利だ。わが党と立憲民主党との間の候補者調整が大きな成果を上げ、自民・公明両党を過半数割れに追い込む力になった。都議会議員選挙の相互支援などを通じて野党共闘はさらに一歩進んだ。次の衆議院選挙に向けて、まずは立憲民主党と話し合いたい。

秋にも必ず行われる衆議院選挙、市民と野党との共闘をつよめて政権交代を実現させ、コロナを抑え、国民の暮らしと平和を守る野党連合政権を実現しましょう。その中核となる日本共産党の躍進へのお力添えを心からお願いいたします。

2021年 東京都議会議員選挙結果
(女性議員) 日本共産党は女性議員第一党です。

	日本共産党	立憲民主党	自民党	公明党	都民ファースト	維新	ネット	無所属	計
今回	19(14)	15(4)	33(4)	23(3)	31(12)	1(0)	1(1)	4(3)	127(41)
改選前	18	8	25	23	45	1	1	5	126

”藤野やすふみ”の略歴
福岡県出身 51歳
京都大学法学部卒、衆議院議員 当選2回、原発、消費税増税、中小企業、共謀罪などで論戦の先頭に立つ。質問は190回、うち安倍首相と16回対決(2020年6月末現在) 党政策副委員長



衆議院選挙 北陸信越ブロック比例代表予定候補
藤野 やすふみ

～ 6月議会の概要と共産党議員の対応 ～

6月議会は6月8日から18日まで開催され、議案5件を審議し、一般会計補正予算修正議案を除く4議案が可決されました。議決された一般会計補正予算の目玉事業は下記のとおりです。

◎一般会計補正予算(7,528万円)の目玉事業

○水道料金軽減事業 2,900万円
コロナによる生活支援のため水道料基本料金の4か月分(8月～11月)を減免する。一般家庭(10㎡以下)の場合は6,880円の減免となる。
【財源】国(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時)交付金

○ハープセンターのトイレ改修 1,800万円
多くの利用者のあるハープセンターのトイレを自動水栓化しコロナの感染防止を図り、洋式化し衛生化を図る。
【財源】国(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時)交付金

○防災活動支援事業 462万円
災害時の避難所での電源確保を図るため、ソーラーパネル式蓄電池セットを10台購入する。
【財源】国(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時)交付金

○感染防止配慮型レジシステム導入事業 70万円
美術館の会計レジが故障した。部品がないため、コロナ感染防止対応のキャッシュレスで電子決済対応のレジシステムを導入する。
【財源】国(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時)交付金

○移住PR(宣伝)事業 55万円
abn長野朝日放送の最優秀賞に輝いた「池田町移住コマ一シャル」を首都圏・関西圏で1か月間、動画配信し、池田町への移住に役立てる。

◎一般会計補正予算案に対する修正予算議案

議会最終日、共産党議員を含む4議員は一般会計補正予算議案から「美術館のレジシステム導入事業費を削除する」修正予算議案を提出しました。提出理由は下記のとおりです。しかし、賛成少数で否決されました。

<提出理由>

- ・美術館の方向性が決まっていなかったことでのレジシステム導入は町民の理解が得られない。
- ・コロナ対応の国交付金は町民への直接的な生活支援を重点に使うべきである。
- ・レジシステムの導入事業はコロナ対応国交付金を使わず別事業(一般財源)で行うべきである。

≪7月8日の全員協議会で承認された国コロナ交付金の使途≫

表 国の新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金(1億108.7万円)の使途(予定)		
※7月8日の全員協議会で専決処分決定		単位:万円
事業名	額	事業内容
公共施設の自動水栓化事業	1,746	学校・役場等の自動水栓化
中小企業継続支援給付金(第1次)	160	町内事業者・農業者への支援
中小企業継続支援給付金(第2次)	1,340	同上、8月以降募集
学校教室消毒支援事業	319	学校の清掃・消毒業務委託
移住PR事業	55	
美術館レジシステム導入事業	70	
ハープセンタートイレ改修	1,800	
インフルエンザワクチン接種事業	900	国交付金へ財源振替
水道料金軽減事業	2,900	
防災活動支援事業	462	避難所用の蓄電池購入
※ 学校等コロナ感染防止対策	115	コロナ感染防止用器材購入
※ GIGAスクール支援事業	401	電源アダプター購入、人的コスト費用
※ 学生応援臨時給付金	250	大学生等に1人1万円給付
※ 災害時備蓄衛生用品	72	避難所用のマスク・生理用品備蓄
合計	10,590	
財 臨時交付金(3年度交付限度額)	10,109	
源 一般財源	481	実費により減少する